

## 学会運営の現状と今後の対応

会員の皆様へ

代表理事 氏家達夫

去る3月20日実施された代議員による役員選挙の結果、新理事、監事が選出され、新代表理事として、継続ですが私が選出されました。微力ながら、会員の皆様の研究の一層の進展と学会のますますの発展に尽力してまいり所存です。

3月2日から4日に開催予定だった日本発達心理学会第31回大会（大会委員長南徹弘先生、副委員長内山伊知郎先生）は、3月26日の安倍首相の自粛要請や大阪府の自粛要請を受けて、「大会は成立したものとすがるが、開催期間に会場には参集しない」という措置を取らせていただきました。学会にとって不可欠・重要な研究交流の場が奪われたことは残念ですが、この終局にかかわらず、会員の皆様とともに学会の研究活動を前向きに継続させられればと考えています。

新型コロナウイルスの影響で、会員の皆様の生活、研究活動も自粛せざるを得ない状況と見えます。病禍の早期の終息を期待しながらも、現在の難局を学会としても乗り切る必要があります。

学会事務局は、国、東京都の要請にしたがい、現在閉鎖中で、事務局員は在宅勤務を継続しています。学会運営を継続するために、事務処理は、在宅勤務と電子メールを駆使して進め、理事会を含めて全ての会議は Zoom を利用したネット会議に変更しています。このような状況のため、会員の皆様には多大のご迷惑をおかけしているものと思います。学会活動ができるだけ支障なく継続できるようにしたいと思いますので、ご協力をお願いするとともに、ご要望や質問があれば遠慮なく学会事務局へ電子メールをお送りください。

今後も、会員の皆様の研究活動が継続できるように、叡智を動員して、可能な限りの支援をしたいと思っております。